

氏名	清 水 光 春
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 2879 号
学位授与の日付	平成7年 6月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	心プールシンチグラフィによる三尖弁逆流量の絶対値算出に関する検討
論文審査委員	教授 佐野 俊二    教授 菅 弘之    教授 大江 透

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

平衡時心プールシンチグラフィにおけるカウントベース法を用いた容量算出法を応用し、三尖弁逆流量の絶対値算出法を考案するとともに、臨床例にも適用した。まず、非逆流群56例において左室一回拍出量(LVSV)と右室一回拍出量(RVSV)との関係を求めたところ、安静時 $r = 0.881$ 、運動負荷時 $r = 0.884$ といずれも $p < 0.001$ の有意な相関関係を認めた。次に、三尖弁閉鎖不全症を有するのべ27例のTR群において、上記で得られた相関式を用いてRVSVを補正することにより、三尖弁逆流量の絶対値(TRV)を算出した。TRVおよび三尖弁逆流分画(TRF)をドプラ法から求めた逆流度別に比較したところ、安静時において少なくとも逆流度Ⅲ・Ⅵ度の重症群と逆流度Ⅰ度、Ⅱ度の軽症群とが識別可能であった。心プールシンチグラフィにより、三尖弁逆流量の絶対値が算出でき、臨床的有用性は高いと考えられる。

### 論 文 審 査 結 果 の 要 旨

平衡時心プールシンチグラフィにおける カウントベース法を用いた容量算出法を応用し、三尖弁逆流量の絶対値算出法を考案するとともに、臨床例に適用した。ドプラ法から求めた逆流量によく相関し、臨床的有用性が証明された。